

展示品の
みどころ

しょうとくたいしえでん
聖徳太子絵伝

クマ形土製品

おのえやま
青森県尾上山遺跡出土
土製
全長14cm
縄文時代晩期
(紀元前1000年～前400年)
青森県立郷土館



クマを象った中空の土製品。足先や耳、尾を欠いているが、口元には上下二本ずつ牙が表され、また、胸に刻まれたV字の表現から、三日月形の斑文を持つツキノワグマを造形したものと考えられる。胴体には、縄文時代らしい縄目模様が隙間なく巡らされ、まるでフサフサとした毛なみのようにも見える。実物を熟知した人の手によるものだろう。

クマの造形の出土事例は、縄文時代後期・晩期の東北地方北部から北海道において、多く確認されている。本品のようにクマの全姿を表したのもあれば、口縁部にクマを象った突起を設けた土器、クマの頭部を彫り出した石製品などもあり、一定の“クマ”ブームが存在したようだ。当時の人々にとってクマは身近な存在であったことが想像されるが、一方で、発掘調査によって遺跡から出土する動物骨はイノシシやシカなどに比べると大変少ない。クマと人は、他の動物と人とは異なる特別な関係を築いていたことが窺われる。

縄文時代に盛んにつくられた種々の動物造形の中でも、立体感の表現と描写の細やかさに優れた佳品である。

中川 あや(当館学芸部列品室長)

重要文化財
絹本著色
各縦129.8cm 横116.4cm
室町時代(16世紀)
奈良・橘寺

本年は、日本仏教界において宗派を超え大きな存在で在り続けた聖徳太子の1400年御遠忌である。当館では今春これを記念した特別展を予定しているが、2月22日の忌日を前に、名品展でも聖徳太子信仰に関わる絵画を特集して展示する。

ここにご紹介する聖徳太子絵伝は、太子誕生の地、勝鬘経講讃の地と伝わる太子ゆかりの寺院である橘寺(奈良県高市郡明日香村)が所蔵する八幅からなる大規模な絵伝である。第1幅は上から下へ、第2幅は下から上へというように順序立てられ、全8幅で太子の誕生から薨去、そして薨去後の出来事をほぼ時系列順に描く。その内容は平安時代に成立した聖徳太子の伝記『聖徳太子伝暦』に概ね準拠し、はっきりした画風とあいまって、比較的分かりやすい構成といえる。

画風から、室町時代に奈良で活躍した絵師、琳賢の周辺で描かれたと考えられる。図様を見ると、平安時代の延久元年(1069)に描かれた法隆寺絵殿の聖徳太子絵伝(法隆寺献納宝物、東京国立博物館蔵)からの踏襲が認められ、奈良の絵師が、奈良における太子絵伝の伝統を継承しながら描いたことが分かる。また、色紙型には勝鬘経講讃を橘寺での出来事と注記するなど、当初より橘寺のために描かれた絵伝と考えられよう。

この八幅が一堂に展示される機会はおおよそ20年ぶり。この機会に聖徳太子の伝記を深く知っていただくとともに、太子信仰を支えた人々の思いを感じていただければ幸いである。

北澤 菜月(当館学芸部主任研究員)



第7幅

◆西新館 3月21日まで、名品展「珠玉の仏教美術」にて展示。

◆西新館 1月13日～2月14日、名品展「珠玉の仏教美術」にて展示。

■開館日時(1月～3月)

■開館時間/午前9時30分～午後5時

※延長開館日はありません

■休館日/毎週月曜日、1月1日

※2月8日(月)、3月1日(月)・8日(月)は開館します。

※1月11日(月・祝)は開館し、1月12日(火)は休館します。

■新型コロナウイルス感染症対策について

当館では引き続き、新型コロナウイルス感染防止のための対策を行っています。ご来館に際してはマスクを着用し、咳エチケットにご留意ください。アルコール消毒や手洗い、検温等にご協力ください。

なお、展示やイベント等につきましては、状況に応じ実施内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご理解いただけますようお願いいたします。

■観覧料金 名品展・特別陳列・特集展示

	一般	大学生
個人(当日)	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生及び教職員の方は無料です。
※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は一般100円引き、大学生50円引きとします(親子割引)。

■なら仏像館・青銅器館の臨時休館について

令和2年12月21日(月)～令和3年2月22日(月)の間、大規模な展示替えのため、なら仏像館・青銅器館は休館となります。休館に伴い、1月19日(火)～2月5日(金)は西新館名品展のみの開館となりますので、一般350円、大学生200円といたします。



●:バス停

[交通案内]近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通、市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。